

山口大学共通教育シラバス

開講年度	開講学部等			
2025	共同獣医学部			
開講学期	曜日時限	授業区分	AL(アクティブ・ラーニング)ポイント	
通年	集中	実習		
時間割番号	科目名[英文名]			単位数
	馬予防医学実践力育成プログラム[Equine preventive medicine skills development program]			60時間
担当教員(責任)[ローマ字表記]				
佐々木直樹 [SASAKI NAOKI]				
登録状況	前回登録者		本登録日時	前回更新日時
担当教員[ローマ字表記]				
佐々木直樹 [SASAKI NAOKI]				
区分	対象学生	馬飼養管理に興味を持つ社会人	対象年次	

**使用言語**  
 日本語  
 概要(共通教育の場合は平易な授業案内)  
 (共通教育の場合は平易な授業案内)

馬飼養管理にかかわる社会人(乗馬ライダー、乗馬インストラクター、牧場経営者、競馬関係者、馬飼養者、馬に興味を持つ者など)の職業実践力育成プログラムである。本プログラムでは、馬学を学修し、Hands-on実習やグループディスカッションを実施することにより、馬予防医学実践力を得ることを目指す。社会人の学び直し、キャリアアップ、女性社会人職場復帰のために必要な能力を習得する。

**一般目標**

授業の一般目標を入力してください。この項目は必ず入力してください。  
 事前自己学習<馬学>、<運動器疾患予防医学>、<軟部組織疾患予防学>等ではe-ラーニングを用いて基本的な馬学や馬予防医学に関する知識の習得を目指す。集中実習<運動器>や<消化器>等においてシミュレーター等を用いたHands-on臨床実習を行うことにより、馬予防医学における技術を習得させる。また、グループディスカッションを行うことにより馬予防医学に関する早期判断能力を習得させる。

**授業の到達目標**

授業の到達目標を入力してください。該当する観点を選び、内容を入力して下さい。

知識・理解の観点	e-ラーニングを用いて馬予防医学に必要な技能および知識を再習得する。集中実習では馬の器官系統別・臓器別予防法ならびに管理法についてHands-on実習を通じて、実践能力を養う。
思考・判断の観点	実際の臨床症例についてグループディスカッションを行い、早期判断能力を高める。
関心・意欲の観点	自ら疑問を検索し解決できるよう、ディスカッションへの積極的な実習への参加が望まれる。
態度の観点	集中実習、グループディスカッションに積極的に参加する。
技能・表現の観点	馬の本質、疾病予防、飼養管理について正しく説明できる。
その他の観点	継続的な自己研鑽を行うための手法を学ぶ。

**授業計画**

この授業の授業計画を入力してください。授業計画全体を【全体】に、週単位ごとの授業計画を【週単位】に入力してください。全学的なシラバスの統一のため、できるだけ【週単位】と【全体】の両方に記入してください。AL(アクティブ・ラーニング)の項目については、該当する箇所にチェックしてください。

**【全体】**  
 事前自己学習は<馬学>、<運動器疾患予防医学>、<軟部組織疾患予防学>等23科目(50時間)より構成され、基本的な馬学や馬予防医学に関する知識の習得を目指す。e-ラーニング(Moodleなど)を用いて、各自都合の良い時間帯(週末、夜間など)に各科目の資料(講義ビデオ、テキスト等)について自己学習して小試験(23項目)により習熟度を確認するとともに、最終試験(修得基準60点)により評点を行う。集中実習(山口大学吉田キャンパス、8月中1日間)は<運動器>や<消化器>等2科目(8時間)より構成され、馬予防医学における技術を習得することを目指す。集中実習では馬シミュレーター、臨床トレーニング教材、プラスチックボン等を用いたHands-on実習を行い、最終日にレポートを提出する。グループディスカッション(8月集中実習期間中1日間、2時間)では数名のグループで症例課題についてディスカッションを行い、馬予防医学に関する早期判断能力を習得することを目指す。

**【週単位】**

	項目	内容	授業外指示	授業記録
第1週	①相馬学の基本事項 ②馬装具について	事前自己学習[e-ラーニング(Moodleなど)] ・山口大学(実務家教員):佐々木直樹 ・外部講師(実務家):兼子樹廣(循環器・元BTC)		小テスト
	AL(アクティブ・ラーニング)			
	グループワーク	ディスカッション・ディベート	フィールドワーク (実験・実習、演習を含む)	プレゼンテーション 振り返り 宿題 ○
第2週	③若馬の育成とトレーニングについて ④馬の成長と損耗・予防	事前自己学習[e-ラーニング(Moodleなど)] ・山口大学(実務家教員):佐々木直樹 ・外部講師(実務家):兼子樹廣(循環器・元BTC)		小テスト
	AL(アクティブ・ラーニング)			
	グループワーク	ディスカッション・ディベート	フィールドワーク (実験・実習、演習を含む)	プレゼンテーション 振り返り 宿題 ○
第3週	⑤馬の生理基準値と健康管理・予防 ⑥馬の栄養管理と牧野管理(含む寄生虫)	事前自己学習[e-ラーニング(Moodleなど)] ・山口大学(実務家教員):佐々木直樹 ・外部講師(実務家):兼子樹廣(循環器・元BTC)		小テスト
	AL(アクティブ・ラーニング)			
	グループワーク	ディスカッション・ディベート	フィールドワーク (実験・実習、演習を含む)	プレゼンテーション 振り返り 宿題 ○

山口大学共通教育シラバス

第4週	⑦子馬の病気予防 ⑧牧野管理と寄生虫・虫卵		事前自己学習[e-ラーニング(Moodleなど)] ・山口大学(実務家教員):佐々木直樹 ・外部講師(実務家):兼子樹廣(循環器・元BTC)		小テスト
	AL(アクティブ・ラーニング)				
	グループワーク	ディスカッション・ディベート	フィールドワーク (実験・実習、演習を含む)	プレゼンテーション	振り返り 宿題
				○	
第5週	⑨競走・競技前後の運動器官と飼養管理 ⑩骨系について		事前自己学習[e-ラーニング(Moodleなど)] ・山口大学(実務家教員):佐々木直樹 ・外部講師(実務家):兼子樹廣(循環器・元BTC)		小テスト
	AL(アクティブ・ラーニング)				
	グループワーク	ディスカッション・ディベート	フィールドワーク (実験・実習、演習を含む)	プレゼンテーション	振り返り 宿題
				○	
第6週	⑪関節の仕組みと疾患・予防を考えよう ⑫筋肉の仕組みと疾患・予防並びにトレーニング効果について		事前自己学習[e-ラーニング(Moodleなど)] ・山口大学(実務家教員):佐々木直樹 ・外部講師(実務家):兼子樹廣(循環器・元BTC)		小テスト
	AL(アクティブ・ラーニング)				
	グループワーク	ディスカッション・ディベート	フィールドワーク (実験・実習、演習を含む)	プレゼンテーション	振り返り 宿題
				○	
第7週	⑬腱と靭帯の仕組みと疾患・予防 ⑭蹄の仕組みと疾患・予防について=蹄の仕組みを知ろう=		事前自己学習[e-ラーニング(Moodleなど)] ・山口大学(実務家教員):佐々木直樹 ・外部講師(実務家):兼子樹廣(循環器・元BTC)		小テスト
	AL(アクティブ・ラーニング)				
	グループワーク	ディスカッション・ディベート	フィールドワーク (実験・実習、演習を含む)	プレゼンテーション	振り返り 宿題
				○	
第8週	⑮脳・脊髄神経の仕組みと疾患・予防、検査法を知る ⑯跛行検査とレジスタント運動		事前自己学習[e-ラーニング(Moodleなど)] ・山口大学(実務家教員):佐々木直樹 ・外部講師(実務家):兼子樹廣(循環器・元BTC)		小テスト
	AL(アクティブ・ラーニング)				
	グループワーク	ディスカッション・ディベート	フィールドワーク (実験・実習、演習を含む)	プレゼンテーション	振り返り 宿題
				○	
第9週	⑰消化器系の仕組みと疾患・予防・対応 ⑱馬の呼吸器の仕組みと疾患について		事前自己学習[e-ラーニング(Moodleなど)] ・山口大学(実務家教員):佐々木直樹 ・外部講師(実務家):兼子樹廣(循環器・元BTC)		小テスト
	AL(アクティブ・ラーニング)				
	グループワーク	ディスカッション・ディベート	フィールドワーク (実験・実習、演習を含む)	プレゼンテーション	振り返り 宿題
				○	
第10週	⑲循環器系の仕組みと疾患・予防・対応 ⑳泌尿生殖器系の仕組みと疾患・予防		事前自己学習[e-ラーニング(Moodleなど)] ・山口大学(実務家教員):佐々木直樹 ・外部講師(実務家):兼子樹廣(循環器・元BTC)		小テスト
	AL(アクティブ・ラーニング)				
	グループワーク	ディスカッション・ディベート	フィールドワーク (実験・実習、演習を含む)	プレゼンテーション	振り返り 宿題
				○	
第11週	㉑内分泌器官系(主に生殖器、骨、腎臓関係)の仕組みについて ㉒馬の感覚器系の仕組みと疾患		事前自己学習[e-ラーニング(Moodleなど)] ・山口大学(実務家教員):佐々木直樹 ・外部講師(実務家):兼子樹廣(循環器・元BTC)		小テスト
	AL(アクティブ・ラーニング)				
	グループワーク	ディスカッション・ディベート	フィールドワーク (実験・実習、演習を含む)	プレゼンテーション	振り返り 宿題
				○	
第12週	㉓馬の伝染病と主な感染症		事前自己学習[e-ラーニング(Moodleなど)] ・山口大学(実務家教員):佐々木直樹 ・外部講師(実務家):兼子樹廣(循環器・元BTC)		小テスト
	AL(アクティブ・ラーニング)				
	グループワーク	ディスカッション・ディベート	フィールドワーク (実験・実習、演習を含む)	プレゼンテーション	振り返り 宿題
				○	
第13週	Hands-on実習(一般身体検査・歩様検査・触診、消化器疾患予防と応急処置、運動器疾患予防と応急処置)		集中実習(山口大学吉田キャンパス) ・山口大学(実務家教員):佐々木直樹		ディスカッション、レポート
	AL(アクティブ・ラーニング)				
	グループワーク	ディスカッション・ディベート	フィールドワーク (実験・実習、演習を含む)	プレゼンテーション	振り返り 宿題
	○	○	○		
第14週	グループディスカッション		グループディスカッション(山口大学吉田キャンパス) ・山口大学(実務家教員):佐々木直樹		ディスカッション、レポート
	AL(アクティブ・ラーニング)				
	グループワーク	ディスカッション・ディベート	フィールドワーク (実験・実習、演習を含む)	プレゼンテーション	振り返り 宿題
		○		○	

山口大学共通教育シラバス

成績評価法

成績評価法を入力して下さい。印刷物のシラバスには【全体】に書かれている内容しか表示されませんので、成るべく【全体】と【観点別】のそれぞれに成績評価法を記入して下さい。【観点別】の成績評価法の詳細は事前に配付した「シラバスの作成」を参照してください。

【全体】

事前自己学習は小試験により習熟度を確保するとともに、10科目終了時の最終試験(修得基準60点)により評点を行う。集中実習は最終日にレポートを提出する。グループディスカッションではグループごとにプレゼンテーションを行う。

【観点別】成績評価に際し、重点とする項目を◎または○にて記入してください。評価割合は、合計で100になるよう数字を入力してください。

	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末試験)	◎	○					10%
小テスト・授業内レポート	○	◎	○		○		10%
宿題・授業外レポート	○	◎	○		○		10%
授業態度・授業への参加度			◎	○			20%
受講者の発表(プレゼン)・授業内での制作作品	○	◎	○	○	○		20%
演習							
出席			○	○			20%
その他(Hands-on)			○	○	◎		10%

教科書にかかわる情報

授業で用いる教科書を「書名」「ISBN」「著者名」「出版社」「出版年」に分けて入力してください。教科書の詳しい情報が分からない場合はまた、全ての項目が分からない場合には、わかる項目だけでも入力してください。テキストを使わずに、プリント等を配布する場合は「教科書その他の情報」の欄にそのように記入してください。

教科書1	書名	馬の予防医学書=やさしい馬学講座=			ISBN	978-4-9910458-0-6
	著者名	兼子樹廣	出版社	アイベック	出版年	2019

教科書その他の情報

事前自己学習は教科書および配付資料により学習を行う。集中実習は配付資料により学習を行う。

参考書にかかわる情報

授業で用いる参考書を「書名」「ISBN」「著者名」「出版社」「出版年」に分けて入力してください。また、全ての項目が分からない場合には、わかる項目だけでも入力してください。テキストを使わずに、プリント等を配布する場合は「教科書その他の情報」の欄にそのように記入してください。

昨年度と同じ	参考書1	書名	馬臨床学			ISBN	978-4-89531-159-5
		著者名	樋口 徹 (監修)	出版社	緑書房	出版年	2014

参考書その他の情報

参考書は集中実習で配付するHands-on実習テキストに記載されている内容の原典であるので、不明な点は原典を確認してください。

メッセージ

馬の予防医学に必要な知識および技術をHands-onプログラムとグループディスカッションを通して学び直しましょう。e-ラーニングには大学のホームページを閲覧できるPC(もしくはタブレット)ならびにネット環境、PCからの連絡を受け取れる個人メールアドレスなどが必要となりますので、受講前に準備をしておいてください。

キーワード

馬予防医学

関連科目

馬臨床学、馬学

連絡先

佐々木直樹  
〒753-8515 山口県山口市吉田1677-1本館404号室  
E-mail: nsasaki@yamaguchi-u.ac.jp

オフィスアワー

随時、メール(nsasaki@yamaguchi-u.ac.jp)で問い合わせしてください。